

10月の事務ごよみ

経理・税務

●インボイス制度の開始

10月より、インボイス制度が開始されます。

取引先とインボイスに関する情報（インボイス発行事業者か否か、インボイスの交付方法など）を共有するとともに、インボイス番号の収集方法、管理方法などを現場担当者へ周知しましょう。また、免税事業者からの仕入れに係る経過措置等、制度の内容を再確認しておきましょう。

26^{ペー}では、インボイス制度開始後の、免税事業者との取引のあり方について解説しています。

●下半期の重要課題への取り組み

3月決算の企業では、10月から下半期に入ります。

上半期の業績をチェックし、年度収支計画の進捗状況を確認します。課題が浮かび上がっていたり、見直しが必要な事項については、早急に対策を検討しましょう。

●年末にかけての資金需要と資金繰りのチェック

これから年末にかけては、大きな資

金需要（年末商戦用の在庫の増しと販売促進、賞与の支払いなど）が発生し、接待や贈答関係の小口の諸経費も増える時期です。

例年の実績や下半期の売上計画・利益計画を勘案し、他部署の協力も得ながら、その内容と資金手当ての方法を綿密にチェックしましょう。

検討の結果、新たに借入れが必要となる場合は、早めに取り金融機関に働きかけることが大切です。

●3月決算法人の中間申告の準備

3月決算で中間申告が必要な法人は、11月の決算応当日までに中間申告と納税を行ないます。

法人税の中間申告には、前事業年度の申告額の半分を納付する予定納税と、半年間を1事業年度とみなして仮決算を行ない、納付税額を算出・納付する方法があります。

ただし、仮決算した場合の法人税額が前期基準額（前事業年度の確定法人税額の2分の1）を超える場合は、予定納税による方法に限られています。

●販促費用の支出

秋の行楽シーズンから年末に向けては商戦が活発化し、様々な販促企画も実施されます。

通常、経理部門がこうした販促企画に直接的に関わることは少ないと思わ

れますが、営業部門に資金面や節税面のアドバイスをするなど側面から支援することも大切です。

●税務調査への対応

税務当局は7月から新しい事務年度に入り、秋口から税務調査が本格化するため、10月は1年のなかでも調査の多い時期といえます。業績にかかわらず、いつ税務調査を受けても対応できるように、証拠資料などを整備しておきましょう。

人事・労務

●健保・厚年の標準報酬の切替え

7月に提出した「報酬月額算定基礎届」に基づく定時決定で、9月から健康保険・厚生年金保険の標準報酬が切り替わります。

切替え後の標準報酬月額に基づく保険料は、原則として10月に支給する給与から徴収を開始します。手続きや金額等を改めて確認しましょう。

●来年度の採用内定とフォロー

ことし4月に内閣官房から発表された「2024年度卒業・修了予定者の就職・採用活動に関する要請について」に則り、多くの企業では10月1日

以降に内定が出されます。

来春新卒予定者に採用の内定を出すにあたっては、入社誓約書を同封して内定通知書を送り、記名した誓約書を返送してもらうとよいでしょう。

また、入社をより確実にするため、定期的な連絡、社内報の送付、懇親会の実施など、積極的なフォローに努めてください。

●社員の異動に伴う事務手続き

10月は、人事異動の多い月です。

同一職場内の異動であれば、特に法定の手続きはありませんが、住所地が変わる転勤や出向、扶養家族に変更があった場合は、社会保険関係の法定手続き、諸手当（通勤手当・住宅手当・家族手当など）の変更に關する事務などが発生します。貸与物品の返還や異動先への事務引継ぎも必要です。

●全国労働衛生週間

10月1日から「全国労働衛生週間」がスタートします。今年度のスローガンは「目指そうよ二刀流 こころとからだの健康職場」です。この機会に、快適な職場環境づくりに努め、健康管理意識を啓発するとともに、自社の安全衛生活動を見直しましょう。

全国労働衛生週間を活用し、過労死の防止を含めた長時間労働による健康障害の防止対策や、メンタルヘルス対

策の推進、病気を抱えた労働者の治療と仕事の両立をサポートする仕組みづくりなどに取り組みしましょう。

●健康診断の実施

秋に健康診断を実施する企業では、その要領について社員に周知徹底します。当日都合がつかない社員には別の受診日を設定し、受診モレが発生しないように努めましょう。

●ストレスチェックの実施

企業のメンタルヘルス対策として、従業員数50名以上の事業場では、1年に1回、ストレスチェックを実施することが義務付けられています（当面の間、従業員数50名未満の事業場については努力義務）。

結果は、実施者から本人に直接通知されます（本人の同意なく事業者がその結果を知ることではできません）。

通知を受けて一定の要件に該当した労働者から申出があった場合、事業者には医師による面接指導を実施する義務があります。

さらに、面接指導の結果に基づいて医師から意見を聴取し、必要に応じて労働時間の短縮や、就業場所の変更といった就業上の措置をとらなければなりません。

なお、本人の同意を得て取得したストレスチェックの結果の記録は、5年

間の保存義務があります。

●冬季賞与の資料・情報の収集

冬季賞与を支給する予定の会社は、検討にあたって資料・情報の収集を始めた時期です。

各種媒体のほか、商工会議所や同業組合、取引銀行の経営相談所などの資料・情報で、地域や業界の相場を調べておきましょう。

また、支給原資についても早めに確認し、売掛金の回収を強化するなど、資金確保の方法を検討しておきます。

●年末商戦の人手の確保

ことし7月の有効求人倍率（季節調整値）は1・29倍と、以前ほどではありませんが、引き続き高い水準を維持しています。3か月連続の減少となりましたが、物価高による求職者数の増加が影響しているとのことです。パートの有効求人倍率も同1・28倍と、比較的高水準を保っています。

年末の繁忙期に向けて、パートやアルバイトを確保する必要がある会社は、早めの手配を心がけましょう。

●「延納」を申請した場合の労働保険料第2期分の納付期限

労働保険の概算保険料は一括納付が原則ですが、年度更新の際に「延納」の申請をすることにより、3期に分割して納付することが可能です。

10月の事務ごよみ

ことしの第2期分の納付期限は10月31日です。所轄の労働局から納付書が送られてきますので、内容を確認し、期日までに納付しましょう。

●労働者死傷病（軽度）報告の提出

7月～9月の3か月間に発生した業務中の軽度の事故や疾病により、社員が3日以下の休業をしたときは、10月31日までに労働者死傷病（軽度）報告を、管轄の労働基準監督署に提出する必要があります。

なお、4日以上以上の休業が発生した場合には、そのつど労働基準監督署に報告しなければなりません。

総務・法務

●衣替えの実施

社員に事務服・作業服を貸与している事業場では、冬服への衣替えの実施が多い時期です。これを機に社内の身だしなみや服装のコードについても再確認するとよいでしょう。

●社内外の慶事への対応

秋は慶事の多いシーズンです。社員や、懇意にしている取引先担当者の結婚などの慶事に際して、祝い金をいくらか包めばよいかわ迷うこともあるでしょう。

う。そこで、慶弔について取扱い全般の規程をつくっておくと便利です。

贈答に際しても、相手に不快感を与えないよう、基本的な事項を押さえたうえで、柔軟に対応しましょう。

●社内レクリエーションの実施

気候が穏やかになり、社員旅行や運動会など、社内レクリエーションが盛んに行なわれる季節になりました。

近年は、社員同士のコミュニケーションの活発化などを目的に、社内行事の効能が再評価されています。

レクリエーションの実施に際しては、詳細を記した資料をきちんと保存しておきましょう。かかった費用は、社会通念上相当な金額であれば、福利厚生費や交際費等とみなされ、税務調査の際に有効な証拠資料となります。

また、実施後に課題と感じたこと、トラブルになったことなどについて記録しておきましょう。

●歳暮・年賀状の準備

歳暮に関しては、昨年の歳暮とことしの中元の贈答実績のほか、取引先一覧などをもとに、贈り先の住所や役職等を更新・確認しながらモレのないようにリストアップを行ないます。

あわせて、贈答品選びも早めに取りかかるようにしましょう。

また、2024年用の通常の年賀は

がきは11月1日から販売されます。各部署の必要枚数を把握し、購入予定数を取りまとめておきます。

●取引先の与信管理の徹底

東京商工リサーチによると、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した5月の中小企業の倒産件数は704件、6月は770件、7月は758件でした。これらの数字はいずれも前年を大幅に上回っており、コロナ禍以後も資金繰りに難渋している企業が多いようです。そのため、各企業においては、例年にも増して与信管理業務の重要性が高まっています。

取引先の経営状況に関する情報は、直接先方と接触している営業担当者から集めるのが最もよい方法です。

年末の資金需要期は、とくに念入りに取引先の売掛金管理や与信管理を行ないたいところです。

管理部門としても、営業担当者や密に連絡を取り合い、取引先に変化があった場合は、こまめに報告してもらうようにしましょう。

来月の計画を立てるために

▽3月決算法人の中間申告期にあたります

▽12月の年末調整の準備に取りかかります



民族の音楽 スプーンダンス

トルコ語でアクデニズ（白海の意）と呼ばれる地中海は、明るくブルーに輝く。その地中海沿岸にある、

シリフケの町で踊られるスプーンダンス。木製のスプーンを2つずつ手に持ち、太鼓のダウルと木管楽器のズルナの陽気な伴奏に合わせて、踊りながらスプーンを打ち鳴らす。
(切絵・文＝前田尋)

イベントガイド

◆宗像大社 秋季例大祭

日時：10月1日～3日

場所：福岡県宗像市

100隻以上の漁船が海上パレードを行なう「みあれ祭」から始まり、秋季例大祭の無事斎行を宗像三神に感謝する「高宮神奈備祭」で締めくくられる。

◆ものづくりワールド 大阪

日時：10月4日～6日

場所：インテックス大阪

自動車、電機、機械、精密機器メーカーなどの製造業ユーザーが来場する、

IT、部品、機械、装置、設備の展示会。およそ1,000社が出展予定。

◆危機管理産業展 2023

日時：10月11日～13日

場所：東京ビッグサイト

危機管理をテーマにした総合トレードショー。「防災・減災」「BCP・事業リスク対策」「セキュリティ」の3分野を主に取り扱う。

◆新居浜太鼓祭り

日時：10月15日～18日

場所：愛媛県新居浜市

重さ3トン以上にもなる太鼓台と呼ばれる山車を担ぎ上げ競う「かきくらべ」

が見どころ。四国三大祭り、日本三大喧嘩祭りの1つに数えられる。

◆時代祭

日時：10月22日

場所：京都府京都市

1,000年間の時代風俗を仮装行列で再現する、「動く歴史絵巻物」。約2,000人の市民が2kmもの行列をなす。

◆デジタル人材育成支援EXPO 秋

日時：10月25日～27日

場所：幕張メッセ

デジタル人材の育成を支援する企業が出展する展示会。eラーニングやリスティング支援などのサービスが見つかる。